

リモートI/O端末は PCより表示器がお得！

PC以外の選択肢があることをご存知ですか？

現状

リモートI/O端末にPCを使用されている
システムインテグレータご担当者さまのケース

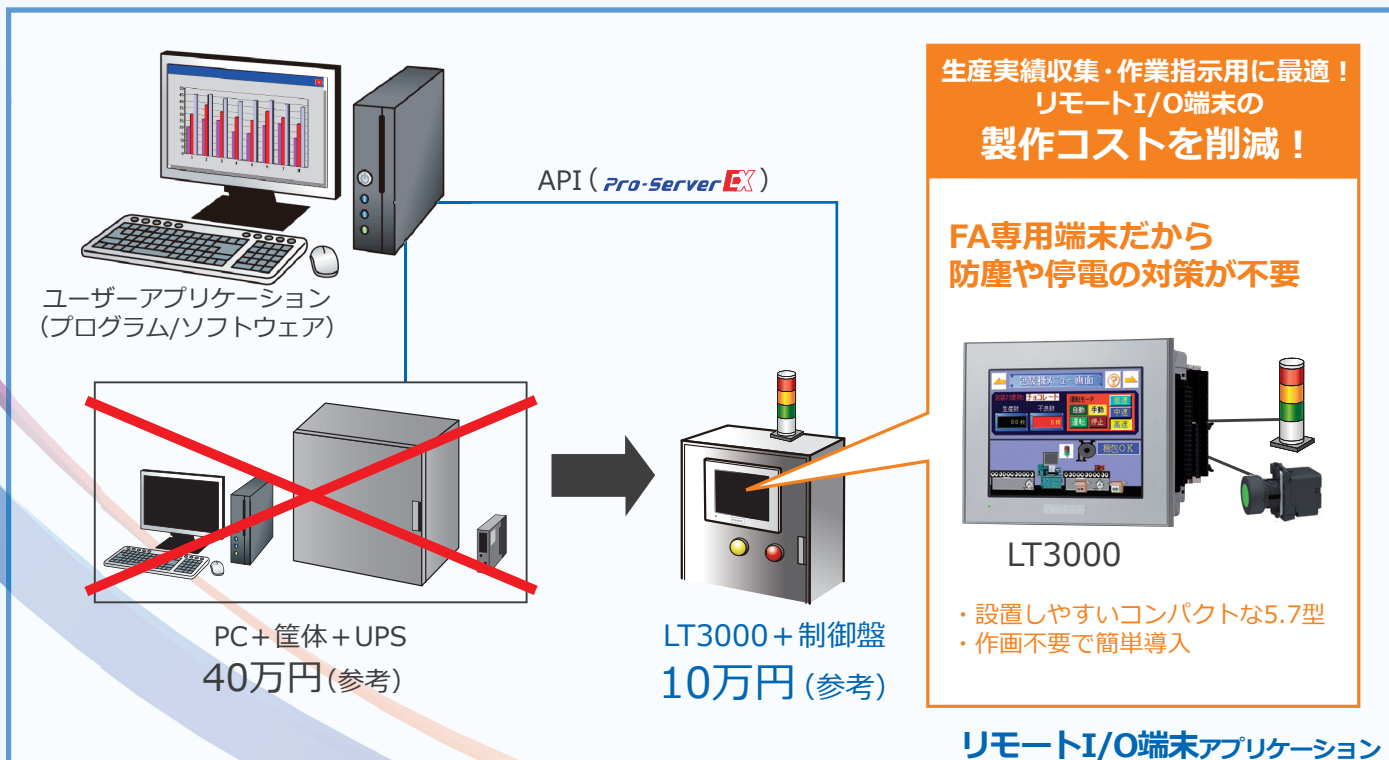
- ・ PCを現場で使用するには、防塵や停電などの対策にコストがかかる
- ・ 停電対策にUPSを設置すると、定期的なメンテナンスにコストがかかる



ご提案

そんなあなたに朗報です。

安価で耐環境性に優れたLT3000をリモートI/O端末にして
コストを抑えたシステムを構築。



ご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくは営業までお問合せください。



システムインテグレータ
設計担当
千支様 (仮名) / 神奈川県

リモートI/O端末にPCを使うと、製作コストがかかるとお悩みではありませんか？
今回は、PC以外の選択肢を使ってコストダウンに成功されたFA向けシステムの
設計を行うシステムインテグレータさまの事例をご紹介します。

リモートI/O端末にPCを使うと 意外にコストがかかって・・・。

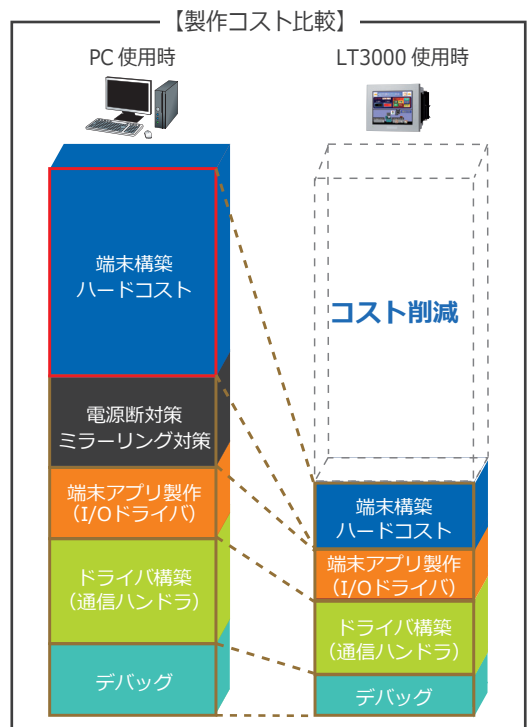
私は、作業指示や実績収集ができるシステムの設計をしています。
ランプ点灯やスイッチ入力といった単純な機器を現場で接続するので、システムには
PCを使ってリモートI/O端末を構築します。
でも、PCを現場で使うには防塵対策用の筐体製作や停電対策用にUPSを用意するなど
意外とコストがかかるんですよ。

UPSは定期メンテナンスが必要だと伝えると いつも嫌な顔をされるんです。

さらに、停電対策用にUPSを設置すると、定期的にバッテリー交換などの
メンテナンスが必要になります。
追加コストがかかるうえにメンテナンスの手間までかかると、
お客さまから嫌がられることが多いんです。

リモートI/O端末をPCから表示器に変える だけでコストを大幅に抑えることができました。

コストダウンに悩んでいるときにデジタル営業員から紹介されたのが、
LT3000でした。
FA専用端末だから高価な筐体製作や停電対策が必要なく、
PCを使うよりもシステム構築のコストを抑えられて大助かり。
しかも、端末の初期画面があらかじめ用意されていたので、
簡単な設定だけで導入ができました。
おかげでコストの悩みが解消しました。



ご紹介した事例を実現するハードウェア

制御・表示・操作が一体だからできる
省スペース設計。

表示器付きコントローラ

LT3000 SERIES



タッチパネルで画面操作

- ・5.7型 QVGA (320×240ドット)
- ・STNカラー4,096色
- ・モノクロ16階調

内蔵DIO (入力16点/出力16点)

- ・パルス出力(最高65kHz) カウンタ入力(最高100kHz)
としても使用できる32点のI/Oを搭載

本チラシにてご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくはお問い合わせください。

株式会社デジタル

www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101

中部支社：052-961-3701

西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・
静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。●その他、本誌に記載している他社登録商標は、本誌掲載製品を紹介する目的での使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。

製品のご用命は